

1. 東北クルーズカンファレンス

1-1. 全体カンファレンス

- 1) 日 時 令和2年8月24日(月) 13:30~15:00
- 2) 場 所 仙台合同庁舎B棟12F 大会議室
住所：仙台市青葉区本町3-3-1
- 3) 参加者 構成員(24名) オブザーバー(2名)
- 4) 内 容

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえた今後のクルーズ船寄港による地域活性化の実現のため、全体カンファレンスを開催した。(一社)東北経済連合会(小野氏)、(株)ジャパネットサービスイノベーション(簗原氏)、(株)MSCクルーズジャパンより現在の活動状況の講演を頂いた。なお、東北経済連合会の講演の際に、中国地方整備局より中国地方のクルーズの取組状況の説明も行われた。

演題：『東北クルーズ振興の取り組み』

講師：(一社)東北経済連合会

常務理事 小野 晋 氏

要旨：2020年は過去最大の寄港数になる予定だったが新型コロナの影響でゼロとなった。コロナが収束するときを見据え、今の時期にプロモーションの準備をすることが必要。これまでのような単なる景勝地ではなく、ストーリー性のある体験型のツアーなど、「その地ならではの」をアピールしていく準備が必要。



小野氏

演題：『ジャパネットにおけるクルーズの取り組み』

講師：(株)ジャパネットサービスイノベーション

部長代理 簗原 一隆 氏

要旨：ツアー造成については、地元の方の目線を大切にしている。圧倒的に都会のお客様が多い中で、地元目線で食事や観光地を提案し、新たな観光コンテンツを掘り起こしていきたい。ジャパネットでも、クルーズの安全面についてはガイドラインを作成しており、今後はテレビ番組等でもクルーズ船に対する不安払拭に取り組んでいく。



簗原氏

演題：『MSCクルーズについて』

講師：(株)MSCクルーズジャパン

営業部長 区 祥誠 氏

要旨：MSCでは既に厳しいコロナ対策（乗船前のクルー・乗船客の検査、船内の医療設備、感染対策）を講じ、寄港地では自由行動禁止というルールをつくり、地中海でクルーズを成功させた。また、コロナ保険を作り、保険込みのクルーズも販売した。コロナの今後の状況も見ながら来年の東北への寄港も考えていきたい。



区氏



全体カンファレンスの様子

1-2. 個別カンファレンス

- 1) 日 時 令和2年8月24日(月) 15:15~17:10
- 2) 場 所 仙台合同庁舎B棟9F A・B会議、第二会議
住所：仙台市青葉区本町3-3-1
- 3) 参加者 構成員(21名)
- 4) 内 容

ジャパネットサービスイノベーション、MSCクルーズジャパンと構成員(県)により個別のカンファレンスをそれぞれ15分ずつ実施。



(青森県)



(岩手県)



(宮城県、石巻市)



(秋田県)



(山形県、酒田市)



(福島県)

個別カンファレンスの様子

2. 先進地視察

- 1) 日 時 令和2年12月3日(木) 8:00~11:00
- 2) 場 所 清水港日の出ふ頭
- 3) 参加者 構成員(7名)
- 4) 内容
 - ・新型コロナウイルス感染症対策をふまえたクルーズの受入れ状況視察
 - ・清水港港湾管理者静岡県との意見交換



受入れ状況視察の様子



意見交換の様子